

東京 FAXニュース 2014 6.5

No. 250 JR東労組東京地本



皆さんのご理解とご協力により
ユニバーサルトレインは
今年で9回目をむかえました！

・ユニバーサルトレインとは…

障がいのある人も、ない人も、普通に、安全に、安心して利用できる交通機関をめざし、お互いが理解し支えあい、人に優しい社会になるよう、私たちが出来ることをする活動として「虹のかけ橋プロジェクト」が発足しました！

東京地本はこれまでに組合員のカンパとボランティアにより、知的や身体に障がいのある子ども達に楽しんでいただくと同時に、お互いの理解を深めるために列車による「旅のプレゼント」を企画し、取り組んできました。

「旅のプレゼント」に参加されたご家族との意見交換会の中で「誰もが気兼ねなく、鉄道などの公共交通機関を利用できるようにしてほしい」というご意見を多く受け「ユニバーサルトレインの旅」の企画を始め、今年で9回目となり、積み重ねてきました！



活動の内容

「ユニバーサルトレインの旅」を企画し、
実行することを通して

1) 交通機関における、 ソフト面とハード面のバリアフリーの推進

- ・障がいがあっても、共に暮らしやすい社会になるよう、ふれあい（ユニバーサルトレインの旅）を通してお互いが理解し、支えあえるようにしていきます。
- ・鉄道やバスなどすべての交通機関において、運賃制度や設備など、誰もが利用しやすい交通機関になることをめざしていきます。



2) 「虹のかけ橋缶バッジ」の普及と啓発

・障がいのある人が交通機関を利用する時、このバッジを身に付けることにより、緊急事態などで困っている状態になった時、JRを含めた各交通機関の関係者や周りの人々が、対応しやすくなるようにと考えて作製しています。



これからも、障がいのある人も、ない人も、
みんなが安心して乗れる、交通機関をめざしていきます！